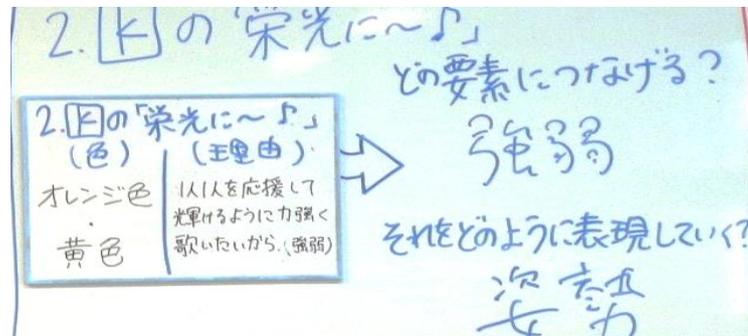


晴れ渡る空のようなステキな合唱に感動の SMILE😊

10月20日(木)、音楽科の湊川梓先生が授業を公開しました(3年7組)。本時は、合唱コンクールの自由曲である、東京オリンピックのテーマソング SMILE～晴れ渡る空のように～(作詞・作曲 桑田佳祐さん)の合唱を通して、生徒が思いや意図をもち、曲にふさわしい表現を工夫して合唱することをねらいとしています。



私が学級担任で合唱指導する時は、繰り返し練習してなんぼの世界だと思っていて、この歌詞は〇〇の意味があるから△△を意識して歌おう!でした。しかし、梓先生は、その歌詞のイメージを色で表す活動を通して、音色・強弱・速度の要素に着目させ、どのように表現したら良いのか考えさせるなど、生徒が主体となって合唱できるようなファシリテートの工夫がなされていました(下図)



授業終盤、パート別練習後の3年7組の一斉合唱に感動!中学校生活最後の合唱という3年生の想いや表情がマスク越しからも良く伝わってきて、思わず喉の裏に熱いものがこみ上げてきました(教頭先生も涙がキラリ)。SMILEの歌詞や曲想の良さを引き出す3年7組の合唱と、その姿の背後には、晴れ渡る空の景色が広がっていました。

■さんにインタビュー『今日の授業で何を学んだかな?』

合唱は、ただ声を出せば良いものではなく、体を使って表現することや、仲間と合わせる事が大切だと思った。

① 本時の目標と活動の流れを確認



② パート別で曲のイメージを色で表す



③ パート別でイメージを表現して録音する



④ 授業の最後の一斉合唱し、変容を確認する



本時の授業×音楽科の目標 (中学校学習指導要領 P.99)

歌詞に込められた想いを表現する活動を通して(活動を通して)、音色・強弱・速度を工夫することで(見方・考え方を働かせ)、その曲の特徴を、より深く味わいながら歌う態度を育成する(資質・能力を育成)。